


オンラインミーティング 導入支援セミナー

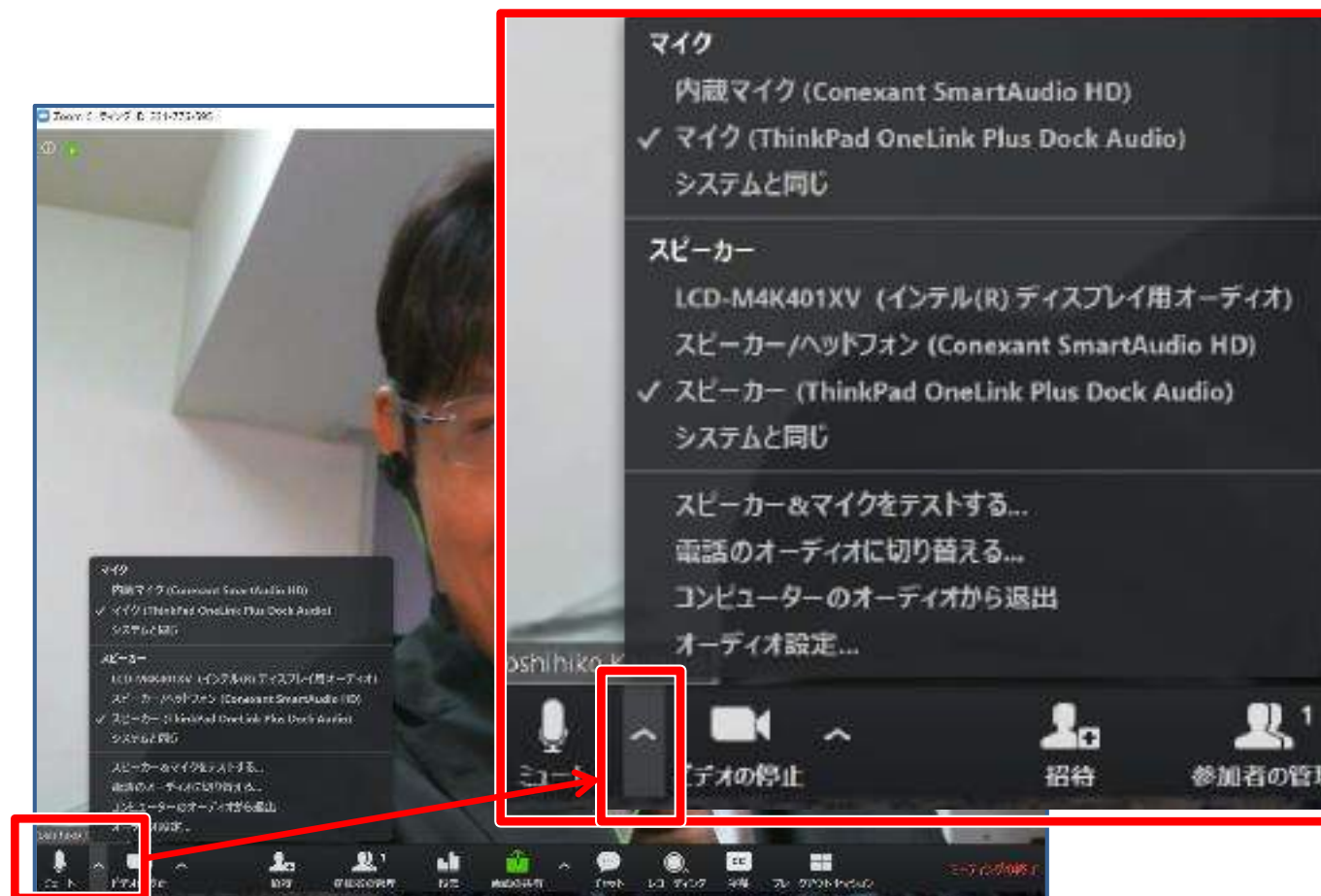
2020年3月3日(火)14:00~

一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ
副理事長 柏野 聡彦

Zoomの使い方

スピーカーとマイクの設定


「音声が聞こえない」ときや「マイクが動いていない」ときは、Zoom画面左下の  ボタンの上向きの矢印をクリックし、システムに接続されたマイクとスピーカーを選ぶ。



マイクのON/OFFが付いたヘッドセットの場合、物理的にマイクをオフにしていることもあるので注意!

ここをクリック!

カメラの設定


「カメラがうまく動いていない」と感じたときは、Zoom画面左下の  ボタンの上向きの矢印をクリックし、システムに接続されたカメラを選ぶ。

ここをクリック!



カメラが動作しなくても、Webセミナー参加やたいのミーティングでは大きな支障はありません。

「ミュート(消音)」のON/OFF

「ビデオの停止」ボタン  で、こちらの声が相手に聞こえる状態(ミュートOFF)と、聞こえない状態(ミュートON)とを切り換えることができます。


Webセミナーでは、講師はミュートオフ、参加者はミュートオンに設定します。ホスト(ミーティング主催者)は、すべての参加者のミュート切り替えをすることができます。



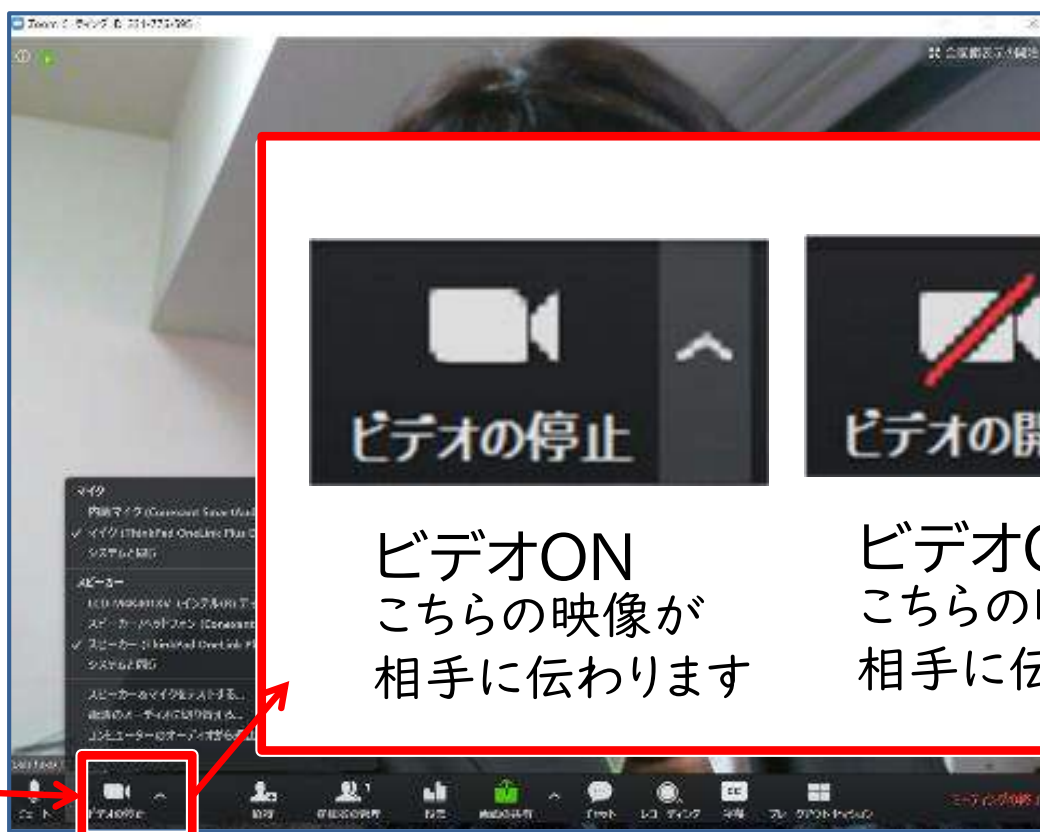
ここをクリック!

可能な方は、実際にミュートボタンをクリックし、ON/OFFの切り替えを試してみてください

カメラのON/OFF

「ビデオの停止」ボタン  で、こちらのカメラ映像が相手に伝わる状態（カメラON）と、伝わらない状態（カメラOFF）とを切り換えることができます。

Webセミナーでは、講師はカメラオン、参加者はカメラオフに設定することが多い。



ビデオOFFにすると、こうなります。



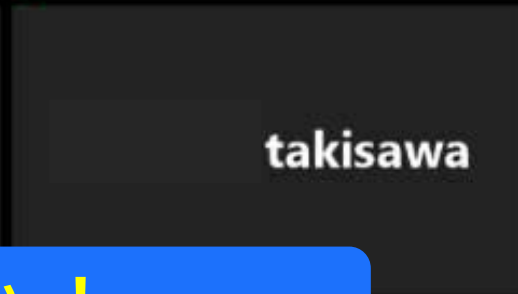
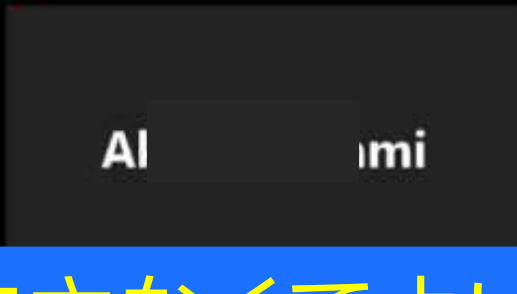
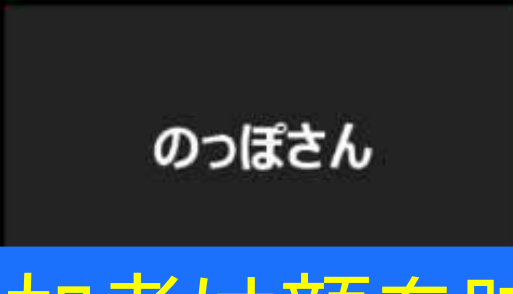
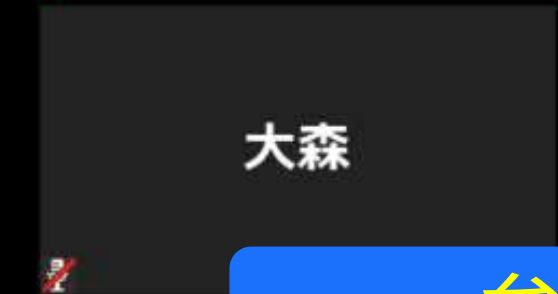
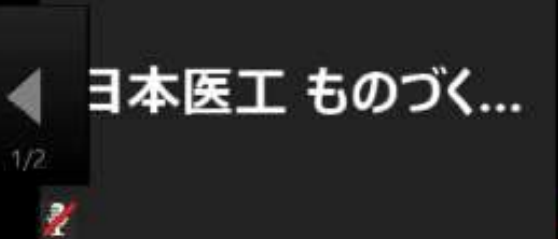
ここをクリック!



可能な方は、実際に「ビデオの停止」ボタンをクリックし、カメラON/OFFの切り替えを試してみてください


Webセミナーでは

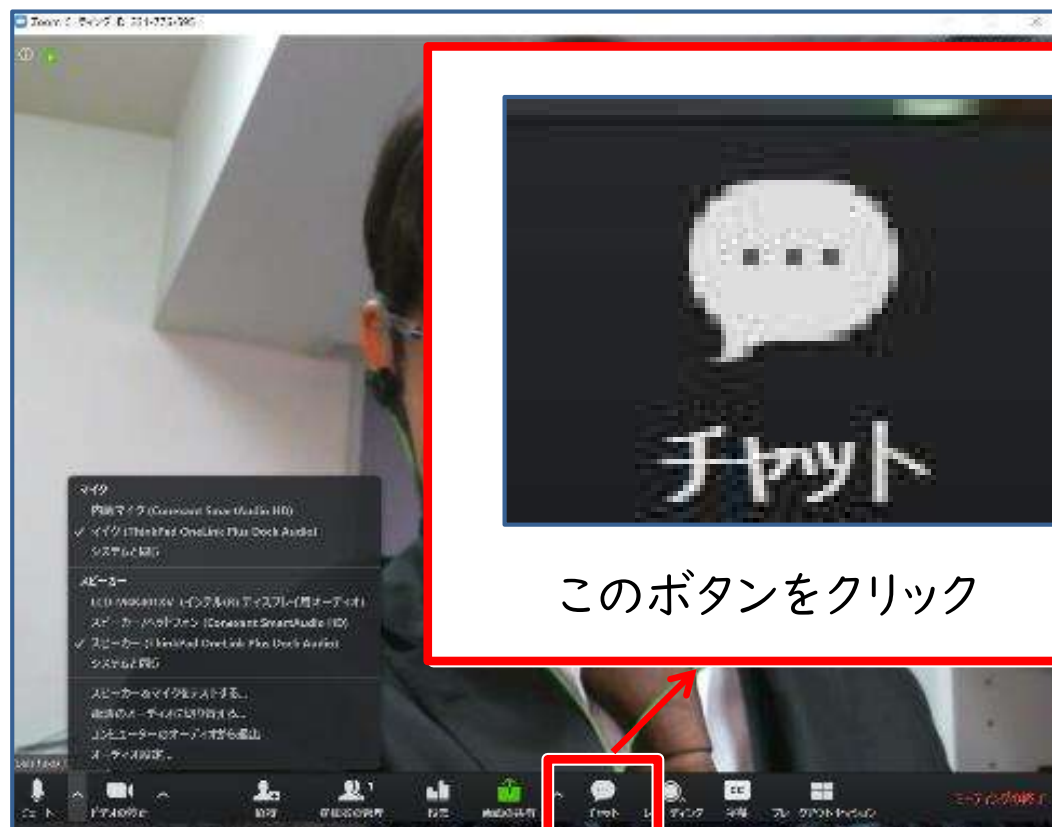
講師と司会者は カメラ・音声ON
参加者は カメラ・音声OFF



参加者は顔を映さなくてよい！
情報セキュリティ上、オフィス内を映せない方もいらっしゃいます

チャットの使い方

ツールバーの「チャット」ボタン  で、チャットをおこなえます。
Webセミナーの質問・コメントの受付で、このチャットがよく使用されます。

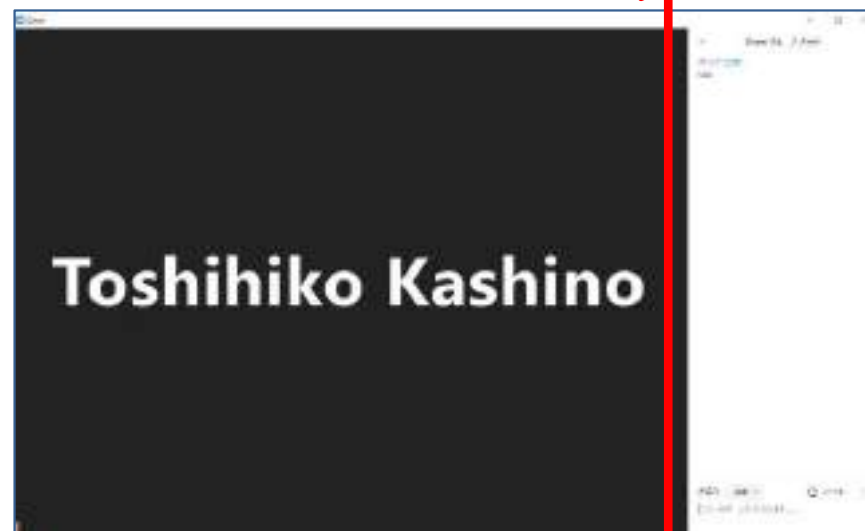


このボタンをクリック

ここをクリック!

送信先を選択すれば、特定の人に
プライベートチャットを送ることもできます



画面右サイドに
チャットウィンドウが開きます。




「画面共有」の方法

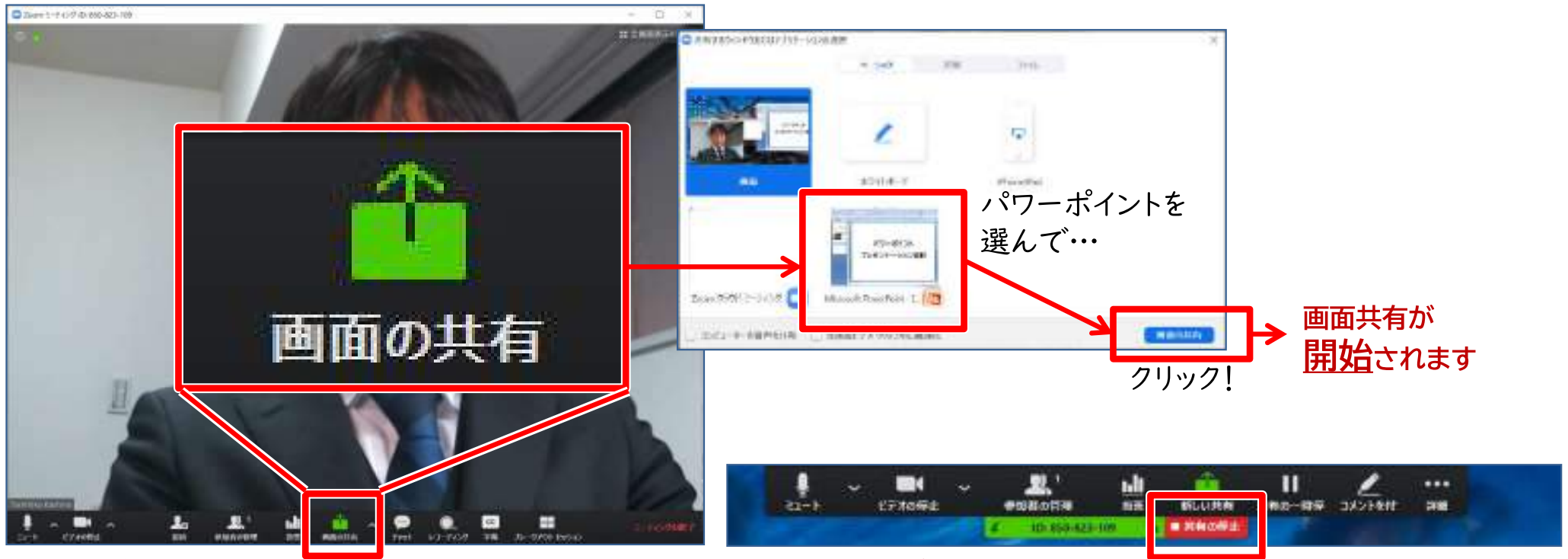
この機能がもっとも重要といっても過言ではありません。

画面共有を開始するときは

- 1 あらかじめ、プレゼンテーション資料(パワーポイント資料)をたちあげておく
- 2 Zoom画面内の下・中央にある  ボタンをクリックする
- 3 ウィンドウ選択画面で、プレゼンテーション資料を選び、  ボタンをクリックする
- 4 パワーポイントの画面共有に成功したら、「スライドショー」にしてプレゼンテーションを始めましょう

画面共有を停止するときは

- 5 ディスプレイの最上部に表示される  ボタンをクリックする



パワーポイントを選んで…

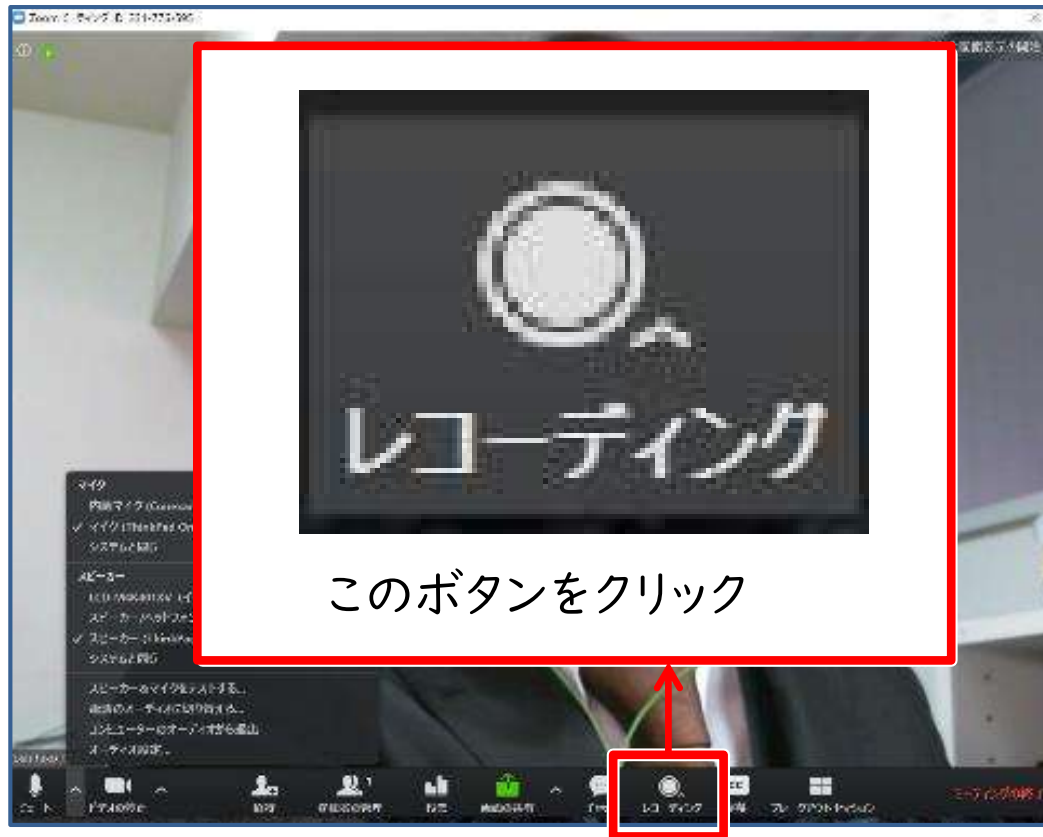
画面共有が開始されます
クリック!

レコーディング（録画）の使い方

自分が「ホスト（主催者）」または「共同ホスト」の場合は、
ツールバーの「レコーディング」ボタン



で録画することができます。



レコーディング機能を使用して、Webセミナーの当日までに、あらかじめプレゼンテーションを録画しておくことも可能です。

ここをクリック！

その他の機能

Zoomに表示される「自分の名前」を変更できます。自分が映る画面内の「…」をクリックし、「名前を変更する」を選びます。Webセミナーを開催するときには事務局の名前を「#質問・コメントはこちら」としておくと、チャットでの質問を受け付けやすくなります。

画面共有された資料上に、他の参加者が「お絵描き」することができます。円を書いたり、文字や記号を入力することで、注目してほしい場所を示したり、指摘や提案をしたりしやすくなります。

画面共有でなくファイルを直接送りたい場合、チャットウィンドウに目的のファイルをドラッグアンドドロップすることで、ファイルを送ることができます。

「バーチャル背景」を使用して、背景画像を設定し、自分の顔と体だけを自動で抽出することができます。「ビデオの停止」ボタンの右側の矢印で「仮想背景を選択する」を選びます。情報セキュリティ対策や部屋が散らかっている場合などに使用。PCのスペックによっては、バーチャル背景を使用できないことがあります。

Zoomの導入・運用コスト

まずは「無料」プランで試験導入しよう

2拠点の接続なら無料アカウントで可能(クライアントとの1対1ミーティングや本社と工場を始業から定時まで接続しておくなど)

3拠点以上の接続であっても、40分以内でミーティングを終えられるなら無料アカウントで可能

「当社の社内ミーティングは30分以内とする」といった先進的なルールをつくれる会社なら、これでよいのでは？

基本	プロ	ビジネス	企業
パーソナルミーティング	小規模チームに最適	中小企業	大企業向け仕様
無料	\$14.99 /月/ホスト	\$19.99 /月/ホスト	\$19.99 /月/ホスト
サインアップは無料	今すぐ購入	今すぐ購入	営業部にお問い合わせ
100人の参加者までホスト可能	全ての基本機能+	全てのプロ機能+	全てのビジネス機能+
無制限の1対1ミーティング	100人の参加者を含みます 参加者がさらに多い場合	300名の参加者を含む 参加者がさらに多い場合	エンタープライズには500の参加者 が含まれています エンタープライズプラスには 1,000の参加者が含まれています 無制限のクラウド保存
グループミーティングは40分まで	ミーティングの時間は24時間に制限されています	専用電話サポート(英語のみ)	エンタープライズには500の参加者 が含まれています エンタープライズプラスには 1,000の参加者が含まれています 無制限のクラウド保存
ミーティング数の制限なし	ユーザー管理	管理用ダッシュボード	専用のカスタマーサクセスマネージャー
オンラインサポート	管理者機能コントロール	パニティURL	エグゼクティブ事業レビュー
+ ビデオ会議機能	レポーティング	至務用導入のオプション	ウェビナーとズームルームの割引バンドル
+ ウェブ会議機能	カスタムパーソナルミーティングID	管理されたドメイン	
+ グループコラボレーション機能	スケジューラーの指定	シングルサインオン	
+ セキュリティ	1GBのMP4/M4Aクラウド記録	会社のブランディング	
	REST API	カスタムメール	
	Skype for Business (Lync) 相互運用性	LI統合	
	+ オプションのアドオンプラン	クラウド記録トランスクリプト	
		+ オプションのアドオンプラン	

「有料」でも、「プロ」なら年間2万円で導入できる

\$14.99/月
1ドル110円換算で1,649円/月、19,787円/年
東京-名古屋(往復)1回分(21,120円)に相当

できれば全員、ヘッドセットを使用しましょう

クリアな音声で聞き、クリアな音声で伝えることができます。

マイクから口までの距離、スピーカーから耳までの距離が離れていると、空気の層や周囲の雑音の影響などで音質が低下します。

会議に集中しやすくなります。

相手の声がよく聞こえるので、普段は聞き取りにくいはずの発言も聞き取りやすくなります。

周囲に音が漏れません。自分の座席や移動中の車内からでも参加できます。

マイヘッドセットをカバンに入れて常に携帯しましょう。

製品の例

ヘッドセット(イヤホンタイプ)



イヤホンタイプだから
目立たない！

¥2,890 2020年3月4日時点

<https://amzn.to/2VrJwVE>

スプリッター(1つのPCに3人が接続)



1つのPCで複数人が
参加する場合はこれ！

¥995 2020年3月4日時点

<https://amzn.to/3ctz4Dj>



3本線のもの
を選ぶこと！

2本線のもの
はマイクを使えない

上記のURLからご購入いただくことで、株式会社考える学校(代表者 柏野聡彦)がAmazonアソシエイトプログラムによる紹介料を受け取ることができますので、ご理解・ご協力をいただくことができますと大変有り難く存じます。

できれば1人1台ずつPC(マイディスプレイ)を使用しましょう

オンラインミーティングでは「画面共有」される資料をベストコンディションで見ることがきわめて重要です。

ディスプレイは、ノートPCでもスマートフォンでもタブレットでも構いません。

マイディスプレイなら、スマートフォンであってもディスプレイと目の距離を調整するなどして、小さな文字まで視認することができます。

逆に、大画面で大勢で集まって参加するスタイルの場合は座る位置によって視認しやすさに大きな差が出てしまいます。「資料をベストコンディションで見られない参加者が生じる」=「ミーティングの質が低下する」です。

大勢で集まって参加しているグループとZoomで参加している人がいる場合に、大勢で集まって参加しているグループ側に会議の中心が置かれたり、大勢で集まっているグループ側の参加者1人ひとりの存在感が希薄化したりして、「ミーティングの重心」が不安定となり、参加者に違和感を覚えさせることがあります。

できればライティング(照明)を使用しましょう

ライティング(照明)をおこなうことで、参加者の雰囲気演出することができます。できれば、元気に映って、楽しいミーティングにしましょう。

ライティング(照明)は、Amazon等でYoutuber向けのものが数千円で購入できます。私は照明は専門ではありませんが、ものづくり企業の方々には、こういうところでも技術へのこだわりを発揮してほしいと期待しています!



ライティング(照明)なし



ライティング(照明)あり

Zoomを使用した企業プレゼンテーション、 プレゼンテーション動画の作成について Web研修(案)

- Zoomの「画面共有」機能を使い、自社紹介のプレゼンテーション資料(パワーポイント)を参加者に対して画面共有しながら、1分間のショートプレゼンテーションをおこなう。(研修当日に実施)
- Zoomのレコーディング機能を使い、自分のプレゼンテーションを録画する。(後日、参加者が実施)

医工連携とオンラインミーティング

医工連携はコミュニケーションのかたまり コミュニケーションコスト軽減は重要課題

- 医工連携では、臨床現場、ものづくり企業、製販企業、コーディネーターなど多くの関係者が広域連携することが少なくない
- 各メンバーにとって、プロジェクト成立前、プロジェクト推進中のコミュニケーションのコスト(打ち合わせの際の移動時間の人件費や交通費)が大きな負担となる
これが医工連携の最大級の障壁かもしれない！
- コミュニケーションのコストを下げることがきわめて重要。

→ オンラインミーティングの活用

最近、実用レベルのオンラインミーティングが登場

オンラインミーティングのメリット

- 「移動時間・移動手段」を考慮せずにミーティングをセットできる
 - 移動時間は、機会損失(他の仕事ができたのに…)、体力消耗(生産性低下)、交通費、人件費、出張手当などコストを発生させる
 - 移動は、たいてい余計な仕事であり、働き方改革の敵
 - 移動時間は確保できるのに、移動手段を確保できず、日程が先延ばしになることも
- 「会議室(物理的な)」を確保する必要がない
 - メンバーのスケジュールは合うのに、会議室が確保できず、日程が先延ばしになることも
 - 有料会議室を使う場合、その利用料もコスト
- 「天候の影響」を受けない
- 「インフルエンザ」をうつすことも、うつされることもない。回復後の自宅待機期間も仕事できる。
- マイクのミュートコントロールで、咳や咳払い、腹鳴、口呼吸などの音を抑えられる。
- 外科医の手術の都合などによる当日の時間変更や日程延期が生じてもダメージ軽微
- 早朝や夕方以降の時間帯でも開催できる
- 本題が終わればすぐ会議を終えられる (せっかく来たから、という理由で駄弁することもない)

オンラインミーティングならではのプロジェクトの進め方

- オンラインミーティングで余力を生じさせ、その余力を使ってミーティングの頻度をアップさせましょう（理想的には2~3週間に1回）。
- その頻度で実施しても進捗するものは「筋のよい案件」。逆に、その頻度で実施して開催する意味のなくなるものは「筋の悪い案件」かもしれません。見切りの判断材料にもなります。
- 生じた余力で案件を増やすこともできます。「成功率」という確率があるなら案件数（試行回数）を増やすことで成功の実数を増やせるでしょう。

オンラインとオンサイトとの融合

- これからの医工連携では、オンラインでおこなうべきことと、オンサイトでおこなうべきことを考え、オンラインとオンサイトとの融合を推進し、成果増大に向けて効率性を高めていくことが大切です。
- オンサイトでおこなうべきこと
 - 展示会やマッチング会など 多くの人が集まり交流する場合 (コミュニケーション効率が高い) ※一方通行のセミナーはオンラインでもよい
 - 製品評価や現場確認など、実際の物や場面の緻密な確認が必要な場合
 - セキュリティ上、参加者が限定されていることを確認しあいたい場合 (オンラインミーティングではカメラの視野外にも人がいる可能性がある)
 - 伝統を重んじる場合 (新春座談会など)
 - どうしても オンサイトで会いたい場合
 - オンラインに対して 抵抗感をもつ人がメンバーにいる場合
- オンライン
 - 上記以外のすべてのコミュニケーション

医工連携Online

□ オンラインセミナー

- オフィスや自宅からオンラインセミナーに参加し、医工連携に必要な専門知識を効率的に獲得する
 - オンサイトセミナーのプログラムを、オンサイト講演+オンライン講演で、混成とする
 - 地元ものづくり企業からZoom活用の利点を講演する
 - 動画コンテンツの視聴+ディスカッション形式とする
 - チャット機能を使い、セミナー中に参加者からコメントを貰い、ディスカッションを広げる
- 大きな課題は、セミナー開催に関する広報ノウハウが未成熟であること

□ オンライン・マッチング商談

- 【商談アレンジ】 商談をアレンジするために、コーディネーターがオンラインで製販企業に対して地元企業を紹介・説明する。製販企業からの希望に基づき、地元ものづくり企業を選定し、商談をアレンジする。
- 【オンライン商談】 離れた企業同士が移動することなく商談をおこなう。
- 【フォローアップ】 初回商談のあとのフォローアップの打ち合わせをオンラインでおこなう。
- 【ものづくり企業ピッチ】 製販企業(1社もしくは複数社)に対して、地元ものづくり企業(複数社)からオンラインピッチをおこなう。(業界団体の委員会など製販企業が集まる会議とZoomで接続することも考えられる)

医工連携Online

□ オンライン専門家相談

- 支援企業に対してオンラインで、1人あるいは複数の専門家が参加し、支援企業からの相談に対して専門家が助言をおこなう。
- オンラインは専門家にとって負担が少なく、**1回あたりのコストをリーズナブルに設定**しやすい。**交通費も不要**。(例:5,000円~1万円)
- 専門家コストが適正化され、**多くの企業を多くの回数、支援できる**
- できれば、**ファシリテータ1名+専門家1~2名**の体制とする。

ファシリテーターの役割

- 支援企業の立場から、専門家への質問をおこなう
- 専門家の発言内容を支援企業が理解できるよう咀嚼して伝える

オンライン専門家相談の内容

- 最初は「**製販企業に対するPRスキルアップ**」から入るとよい。
 - 医療機器業界の考え方・言葉づかいがわかってくる
 - 自社に期待される役割、自社が売り込むべき内容がわかってくる
 - 医療機器業界でPRをおこなうためのPR資料(ポスター)を獲得できる

→ やる気が出る。医療機器産業に取り組む地元企業の裾野拡大に効果的
- PRスキルアップを通じて、その会社の医工連携の状況や課題を把握できる。

→ 必要な専門家相談へつなげる。

 - 「**特許取得の可能性がある**」
 - ドクター(臨床的価値のある応用をディスカッション) + 弁理士(出願検討)
 - 「**すでに試作品がある**」
 - 該当する製販企業を探索し、マッチングする(案件化をめざす) + 弁理士(出願検討)
 - 「**薬機法対応がわからない**」
 - 薬機法専門家と面談。場合によってはオンラインで社内や工場内を確認。
 - 「**研究開発マネジメントを強化したい**」
 - オンライン・プロジェクトミーティング
 - プロジェクトマネージャー人材との相談をアレンジ(製品化プロセスの俯瞰と推進)
 - 「**販路がない**」
 - ディーラーとの面談

医工連携Online

□ オンラインプロジェクトミーティング

- ファシリテーター＋プロジェクトマネージャー＋臨床機関＋製販企業＋ものづくり企業＋専門家のミーティング
- 2～3週間に1回のミーティングを開催

□ オンライン工場見学

- 製販企業等をお誘いし、オンラインで工場見学
- 後日、動画コンテンツ化し、製販との面談等で使用

□ オンライン病院見学

- Zoomでオンライン病院見学
- オンラインはオンサイトに比べセキュリティ面、プライバシー面で利点
- 動画コンテンツ化できれば、ニーズ勉強会でも使える

□ オンラインニーズマッチング会

- 臨床ドクターがニーズ発表し、マッチング

オンサイト・オンライン**融合型**のコーディネート

支援企業と関係機関との面談にコーディネーターがオンサイトで同席する際や、支援企業に対してコンサルタントがオンサイトで助言をおこなう際、同時に、事務局や他のコーディネータ・コンサルタントがオンラインで接続して参加する形式をいう。(オンサイト参加のコーディネータ等がZoomにつなぐ)

□ コーディネート・コンサルティングの密室化を回避し、情報共有を深められる

- 面談のポイント(一般に、面談報告書に記載される内容)だけでなく、面談の雰囲気を含め、事務局や他のコーディネーター等が深く情報共有できる。支援企業をもっと理解できる!

□ コーディネート・コンサルティングの質の向上、人材育成につながる

- コーディネートやコンサルティングの内容を事務局や他のコーディネーター等と共有することは、当該コーディネーター等の優れた点や改善点を共有することになり、コーディネート等の質の向上や人材育成につながる。もっと質をあげられる!

□ 複数の専門家から助言をおこなえる

- 担当コーディネーターがオンサイトで面談し、オンラインで複数の専門家が接続する形式とすることで、複数の専門家から助言をおこなえる。もっと成果を高められる!

□ 事務局による補足をおこなえる

- 担当コーディネーターが伝えるべきことを伝え忘れるような場合、オンラインで接続した事務局スタッフが補足して伝えることができる。期待役割をまっとうできる!

□ 専門家コストが低く、事務局スタッフも多数の面談に対応可能となる

- オンライン参加は業務負荷が低く、その分、オンサイトに比べ専門家単価は低くなる。経済的!

メドテックステーション

日本の医工連携が一目でわかる情報サイトを目指しています

Medtech Station About お知らせ **NEW** ユーザー登録・ログイン

開催日の近い順 32 件ずつ表示

なぜ!? 臨床工学技士が医工連携に取り組むのか
朝日 大樹 理事
どなたでもご参加ください。東京都臨床工学技士会とともに医工連携を学びましょう
2/19 水 9:00-19:30 オンライン 無料

Webセミナー
株式会社投資型クラウドファンディングで日本最高額の調達を成功させた実体験を語る
■ 医療ベンチャーのために新たな資金調達の方法をつくりたい FUNDINNO 北本浩明
■ クラウドファンディングがもたらしたものの KOTORUKI Medical 高山 一幸
株式会社投資型クラウドファンディングで日本最高額の調達を成功させた実体験を語る
2/20 水 9:00-12:00 オンライン 無料

ものづくり中小企業の医療機器産業への参入
2/26 水 9:00-12:00 オンライン Zoom
中島 義雄 参入アドバイザー
山本 典子 参入アドバイザー
柏野 聡彦 参入アドバイザー

MINCの会
NCGMの医師と学べる勉強会
第13回 海外医療機器の最新動向勉強会
3/4 18:00-20:15
医師と学ぼう! 海外医療機器の最新動向を学ぶ勉強会です
3/4 水 東京都 オンライン 無料

基礎講演
デジタルヘルス時代における医療機器規制
PMDA 高江 先生
医療機器の開発・販売戦略のフレームワーク
本間 先生
基礎講演「デジタルヘルス時代における医療機器規制」PMDA 高江先生、「医療機器の開発・販売」本間先生
3/5 木 兵庫県 無料

研究講演
成果報告と
IoTセンサ・AIを用いた要介護児支援システムの構築
カプセル内視鏡用電磁波防護網に関する研究開発
兵庫県立大学の成果報告、「IoTセンサ・AIを用いた要介護児支援システム」、「カプセル内視鏡用電磁波防護網に関する研究開発」
3/5 木 兵庫県 無料

2019年度特別セミナー
米国ミネソタにおける医療機器・デバイス開発のノウハウと国際センサを身につけるきっかけを獲
3/9 月 東京都 無料

ユーザー登録して使ってね!

無理なく円滑な医療機器産業への参入
みらいの医療のための非常利クラウドファンディング
女性の活躍ががん早期発見のために



日本医工ものづくりコモンズ **Webセミナー** 2020/3/9
14:30-16:00

医工連携における クラウドファンディングの意義とは？

■ 医療機器開発と臨床試験計画から考える
クラウドファンディング

国立がん研究センター東病院 西澤祐吏

■ 医療の進歩に貢献するREADYFORプラットフォーム
READYFOR 田中万由

日本医工ものづくりコモンズ **Webセミナー**

日本のものづくり技術を活かせ！

マーケット広がる

医療シミュレーションの世界

2020 **3/9** 川平 洋
16:30-17:30 自治医科大学

オンラインピッチ登壇希望者はこちらから



あなたの優れた医工連携を
日刊工業新聞で
記事にしておもらおう！

2020年3月30日開催分
エントリー締切 2月28日

日本医工ものづくりコモンズ 日刊工業新聞社 医工連携オンラインピッチ2020

日本医工ものづくりコモンズ **Webセミナー**

大都市に近くない **ものづくり**
中小企業 は
本当に**不利**なのか？

4/8 前多 宏信
17:00-17:30 フジタ医科器械

医工連携イベントのオンライン開催を支援するプロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大にともない、医工連携イベントの中止や無期延期が相次いでいます。

医工連携セミナーやニーズマッチング会、人材育成講座、展示会をはじめ関係者の創意工夫と熱意により企画された優れた医工連携イベントが開催できなくなることは、わが国の医工連携にとって大きな損失です。

こうした状況への貢献策として日本医工ものづくりコモンズ（理事長 谷下一夫）は、Zoom社の協力のもと、オンサイトで開催が予定されているイベントをオンラインに変更して開催するための支援を開始いたします。

本プロジェクトによる支援を希望される方は、日本医工ものづくりコモンズ事務局までお問い合わせください。企画内容に応じて、個別相談のうえ対応をさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ

理事長 谷下 一夫

副理事長（本プロジェクト担当） 柏野 聡彦

□ 支援内容

- (1) コモンズより、オンラインでのイベント開催ノウハウを提供します。
- (2) Zoom社より、本プロジェクトに対し、期間限定でアカウント（通常は有料）を無償提供いただきます。

□ 支援対象

- ✓ 支援対象となるイベントは、2020年3月1日～6月30日の期間に開催予定のイベントとなります。（この期間に該当しないものにつきましてもご相談ください）
- ✓ アカウント数や期間は柔軟に対応いたします。
- ✓ 企画内容によりご支援できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

□ 相談窓口

コモンズWebサイトの相談申し込みフォームより、イベントの開催時期、企画内容（概要）、ご担当者様の連絡先等をご入力ください。

日本医工ものづくりコモンズ事務局
support@ikou-commons.com

意見交換